



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_1600

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 15:00

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：小林政務調査会長（自民党）

タイムスタンプ：00:01:10～00:01:22

発言：「正当感交流をしっかりと具体化していきたい。日本のテクノロジーとインドの製造業をうまく掛け合わせることで二国間関係を発展させていくと述べました」

位置づけ：与党・自民党の政策立案責任者。政策の推進者であり、中立的専門家ではない。

欠如している対抗意見：野党政策担当者、独立した外交・安全保障研究者、経済安保批判的専門家。

情報源の深度チェック：

(a) 資金調達：自民党所属の国会議員。政党交付金・政治資金により活動。利益相反：推進する政策の当事者であり、客観的評価者ではない。

(b) 委任：政務調査会長としての役割は政策立案・推進であり、中立的評価とは構造的に相容れない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：-2 — 推進する政策の直接的当事者

D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗時の政治的責任はあるが、発言内容自体のリスクは低い

D3 専門的能力：+1 — 政策立案の実務経験はあるが、独立した学術的専門性は不明

D4 意見の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし

D5 感情化対データ：-1 — 「しっかり」等の情緒的表現が多く、具体的データなし

D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）ではあるが、客観性は低い

• 合計：-2 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

(d) 小林氏の発言は与党の政策広報として機能しており、中立的専門家として枠組みされることは構造的に問題がある。これは基準12（情報源選定）の問題でもある。

欠如している専門家グループ：

- 独立した外交・安全保障研究者（大学・シンクタンク所属）
- 防衛装備移転の法的専門家
- インド地域研究者

まとめ（マトリクス結果）：

- 小林政務調査会長：情報源信号機 黄色（合計-2） — 当事者として一次情報源ではあるが、中立的専門家としての機能は持たない。対抗的専門家意見が完全に欠如しており、一方的な情報提供となっている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：小林政務調査会長（自民党）

タイムスタンプ：00:01:10～00:01:22

発言：「正当感交流をしっかりと具体化していきたい。日本のテクノロジーとインドの製造業をうまく掛け合わせることで二国間関係を発展させていくと述べました」

- (a) 資金調達と運営主体：自民党所属国会議員。政党交付金・政治資金・国会議員歳費により活動。
- (b) 構造的利益相反：推進する政策の直接的当事者であり、政策評価の中立性は構造的に担保されない。
- (c) 対抗情報源の欠如：野党政策担当者、独立した外交研究者、批判的専門家が一切引用されていない。

欠如している対抗情報源：

- ・ 立憲民主党・日本共産党等の野党による防衛装備移転への公式見解
- ・ 独立した外交・安全保障研究者（例：防衛研究所、大学研究者）
- ・ インド地域専門家（BJP政権の性格・インド外交の多方向性）
- ・ 新幹線プロジェクトの批判的評価（例：会計検査院、独立エコノミスト）

まとめ：本報道において引用される情報源は与党政治家のみであり、独立した専門家・野党・批判的立場からの情報源が完全に欠如している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の要件に反する構造的問題である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- ・小林氏（自民党・与党）の発言引用：約15秒（00:01:10～00:01:22）（約5%）
- ・ナレーション（NHKキャスター）：約67秒（約23%）
- ・「会談に先立ちました」繰り返し部分（技術的問題）：約210秒（約72%）
- ・野党・批判的立場：0秒（0%）

注記：トランスクリプトの00:01:25～00:04:56の区間は「会談に先立ちました」の繰り返しであり、これは明らかにトランスクリプト生成上の技術的エラー（音声認識の誤作動または映像の静止・無音区間）と判断される。実質的な報道内容は約85秒と推定される。

まとめ：実質的な報道内容において、与党・政府側の立場のみが提示され、野党・批判的立場への時間配分はゼロである。ただし、ニュース速報の性質上、全立場への均等な時間配分を求めることには限界があり、スコアは中程度にとどめる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：防衛装備品移転の具体的内容・法的根拠・国会審議状況

関連タイムスタンプ：00:01:02～00:01:07

引用：「防衛装備品の移転などの取り組みを共に後押ししていくことを確認しました」

影響：防衛装備品移転は2023年の三原則改定後の重大政策転換であり、国会での継続的議論の対象。具体的品目・条件・法的根拠なしの報道は、視聴者の政策評価能力を著しく制限する。

省略2：

文脈：インドのロシアとの関係継続と日本の対露制裁との矛盾

関連タイムスタンプ：00:00:53～00:01:07

影響：インドはウクライナ侵攻後もロシアからの石油輸入を継続しており、日本が対露制裁を維持しながらインドとエネルギー分野で協力することの外交的矛盾が完全に無視されている。

省略3：

文脈：ムンバイ・アーメダバード高速鉄道プロジェクトの大幅遅延と問題点

関連タイムスタンプ：00:01:00～00:01:02

引用：「インドで建設中の高速鉄道に日本の新幹線を導入することや」

影響：同プロジェクトは当初2023年開業予定が大幅に遅延し、用地取得問題・費用超過が報告されている。この文脈なしの「後押し確認」報道は、プロジェクトの現実を歪める。

まとめ：防衛装備品移転・インド外交の複雑性・新幹線プロジェクトの問題点という三つの重要な文脈が完全に省略されており、報道は与党の公式発表の転載に近い状態となっている。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の要件に反する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

本放送において、具体的な数値・統計データの使用は確認されない。「エネルギーや半導体」「高速鉄道」「防衛装備品」という政策分野の名称は言及されているが、具体的な数値（投資額・規模・期間等）は一切提示されていない。

まとめ：数値の積極的な操作は確認されないが、重要な政策事項について具体的な数値が一切提示されないこと自体が、視聴者の政策評価能力を制限する省略の問題（基準4）と連動している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜 (連座制)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：否定的な集団・思想との関連付けによる信用失墜。

本放送において、特定の人物や立場を否定的な集団・思想と関連付けることによる信用失墜の技法は確認されない。報道は与党の活動を肯定的に伝えるものであり、連座による信用失墜の方向性とは逆の構造を持つ。

まとめ：本基準に該当する操作技法は確認されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中盤・末尾）。

所見1：

位置：00:00:04～00:00:27（冒頭・リード）

内容：「自民党の小林政務調査会長は訪問先のインドで両党をインド自民党のナビン総裁と会談し両党の交流を深めていくとともにエネルギーや半導体など経済安全保障分野での両国の協力を共に後押ししていくことを確認しました」

タイミング効果：冒頭リードで「確認した」という既成事実を提示することで、後続の詳細報道の解釈枠組みを「成功した外交」として固定する。批判的文脈は冒頭に置かれられないため、視聴者の初期印象形成に影響する。

所見2：

位置：00:01:14～00:01:22（末尾・締め）

内容：「日本のテクノロジーとインドの製造業をうまく掛け合わせることで二国間関係を発展させていくと述べました」

タイミング効果：小林氏の肯定的発言を末尾に配置することで、視聴者の最終印象を「発展・協力」という肯定的フレームで締めくくる。批判的コメントや留保事項は末尾に置かれられない。

まとめ：冒頭と末尾の両方に与党の肯定的メッセージが配置されており、報道全体の印象形成において与党の立場が優位に置かれている。ただし、ニュース速報の標準的構成（リード→詳細→コメント）の範囲内であり、操作の程度は中程度にとどまる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨の非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、反応を引き起こした具体的な出来事（トリガーイベント）を記録すること。反応が選択的と評価できるのは、他の立場における類似のトリガーイベントが同様の反応を生じさせなかった場合に限る。

本放送において、特定の立場に対する憤慨・批判的反応の表明は確認されない。報道は中立的なナレーション形式で進行しており、感情的反応の非対称性を評価する対象が存在しない。

まとめ：本基準に該当する操作技法は確認されない。スコア0は積極的な評価ではなく、評価対象の不在を示す。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								8/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:27

引用：「自民党の小林政務調査会長は訪問先のインドで両党をインド自民党のナビン総裁と会談し両党の交流を深めていくとともにエネルギーや半導体など経済安全保障分野での両国の協力を共に後押ししていくことを確認しました」

操作：会談の成果を「確認した」という既成事実として提示し、政策的議論の余地を排除するフレームを設定。

なぜ問題か：「確認した」という動詞は合意の正当性を自明視させ、視聴者が政策内容を批判的に評価する機会を奪う。

所見2：

タイムスタンプ：00:01:19～00:01:22

引用：「日本のテクノロジーとインドの製造業をうまく掛け合わせることで二国間関係を発展させていくと述べました」

操作：小林氏の発言をそのまま報道の結論として採用し、独立した評価なしに「発展」という肯定的フレームを確立。

なぜ問題か：政府・与党の公式見解が検証なしに報道の枠組みとなっており、批判的距離が欠如している。

まとめ：報道全体が「日印関係強化は望ましい」という与党の政策フレームを無批判に採用しており、代替的解釈や批判的視点が構造的に排除されている。ただし、ニュース速報の性質上、深度分析を求めることには限界があり、スコアは中程度にとどめる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:42～00:00:48

引用：「自民党とインド自民党の正当感交流を深めていくことで一致しました」

操作：「一致しました」という表現が合意の完全性・相互性を強調し、交渉の複雑さや留保事項を隠蔽。

なぜ問題か：中立的代替表現は「協議しました」または「意見交換しました」であり、「一致」は政策的成功を過度に強調する。

所見2：

タイムスタンプ：00:01:14～00:01:22

引用：「正当感交流をしっかりと具体化していきたい」

操作：「しっかりと」という副詞が政策の確実性・信頼性を情緒的に強化し、批判的評価を困難にする。

なぜ問題か：政治家の発言における「しっかりと」は日本語政治談話における典型的な印象操作語であり、具体的内容の欠如を隠す機能を持つ。

まとめ：言語操作は軽微であり、標準的なニュース報道の範囲内にとどまる。ただし、政府・与党の言語フレームをそのまま採用する傾向が見られる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、介入を引き起こした具体的な出来事（トリガーイベント）を記録すること。介入が非対称と評価できるのは、他のゲストにおける類似のトリガーイベントが同様の介入を生じさせなかった場合に限る。

所見1：

タイムスタンプ：00:00:04～00:01:22

トリガーイベント：ニュースキャスターによる一方向的な事実報告（インタビュー形式ではない）

引用（キャスター）：（直接引用不可 — ナレーション形式）

比較：本放送はインタビュー形式ではなく、ニュース速報形式であるため、司会者による質問・割り込みという概念が構造的に適用されない。

非対称性：確認不可 — 形式上、司会者の介入行動を評価する対象が存在しない。

まとめ：本放送はニュース速報形式であり、スタジオ討論やインタビュー形式ではないため、司会者の行動における非対称性を評価する条件が整っていない。スコアは最低限にとどめる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はニュース速報形式であり、インタビューや質疑応答の場が存在しない。キャスターによる質問行為そのものが発生していないため、質問の非対称性を評価する対象が構造的に存在しない。

まとめ：評価対象となる質問行為が存在しないため、本基準は適用不可。スコア0は「問題なし」ではなく「評価不能」を意味する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

本放送において、偽りの均衡の問題は確認されない。むしろ問題は逆方向であり、均衡の欠如（一方的な与党立場の提示）が主要な問題である。偽りの均衡は、実際には一方が正しい問題について両論を並列提示する場合に生じるが、本報道では対抗的立場そのものが提示されていない。

まとめ：偽りの均衡の問題は確認されない。本報道の主要問題は均衡の欠如であり、偽りの均衡とは逆の構造的
問題を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：日印関係強化・経済安保協力・防衛装備移転は「望ましい政策方向」として自明視されている。

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:27

根拠：「共に後押ししていくことを確認しました」という表現が、政策の正当性を前提として報道を構成している。

代替アジェンダ：防衛装備移転の是非・インドの民主主義状況・日印協力の地政学的リスクがアジェンダから排除されている。

所見2：

設定されたアジェンダ要素：LDP-BJP間の党際交流は「正当な外交活動」として自明視されている。

タイムスタンプ：00:00:42～00:00:48

根拠：「正当感交流を深めていくことで一致しました」という表現が、党際交流の民主的正統性を問わずに報道している。

代替アジェンダ：党際交流と政府外交の関係・国会への説明責任・BJP政権の性格がアジェンダから排除されている。

まとめ：本報道は与党の政策方向性を自明の前提として設定し、その正当性を問う視点をアジェンダから構造的に排除している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の要件に反する。

ステップ2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	3	与党の政策フレームを無批判に採用し、代替的解釈が構造的に排除されている
2	言葉の選択	2	「一致」「しっかり」等の政治的言語が政策の正当性を情緒的に強化している
3	専門家の選定	5	与党政治家のみが情報源として機能し、独立した専門家・野党が完全に欠如している
4	省略	7	防衛装備移転の法的根拠・インド外交の複雑性・新幹線問題が完全に省略されている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	1	ニュース速報形式のため評価対象が存在せず、非対称性は確認不可
6	時間配分	4	野党・批判的立場への時間配分がゼロであるが、速報形式の制約を考慮
7	質問の非対称性	0	インタビュー形式ではないため評価対象が存在しない
8	連座による信用失墜	0	該当する操作技法は確認されない
9	数値操作	1	具体的数値が一切提示されず、政策評価能力が制限されている
10	タイミング	2	冒頭と末尾に与党の肯定的メッセージが配置されている
11	映像選択	2	トランスクリプトからの確認は限定的だが、外交映像の標準的使用が推定される
12	情報源の選定	6	与党政治家のみが情報源であり、独立した情報源が完全に欠如している
13	選択的憤慨	0	該当する操作技法は確認されない
14	偽りの均衡	1	偽りの均衡ではなく均衡の欠如が主要問題
15	アジェンダ設定	6	与党の政策方向性が自明の前提として設定され、批判的視点がアジェンダから排除されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.1 / 10
- 完全性スコア：2.0 / 10
- 複合スコア：2.8 / 10（基準スコア70%+完全性スコア30%）

計算：(3.1 × 0.7) + (2.0 × 0.3) = 2.17 + 0.60 = 2.77 → 2.8 / 10

支配的な操作技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア7）：防衛装備品移転という重大な政策転換について、法的根拠・対象品目・国会審議状況・野党の立場が完全に省略されており、視聴者の政策評価能力が著しく制限されている。インドのロシアとの関係継続という外交的矛盾も完全に無視されている。
2. 情報源の選定（スコア6）：与党政治家（小林政務調査会長）のみが情報源として機能しており、独立した専門家・野党・批判的立場からの情報源が構造的に欠如している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の要件に直接反する。
3. アジェンダ設定（スコア6）：日印関係強化・防衛装備品移転・経済安保協力が「望ましい政策方向」として自明視され、その正当性を問う視点がアジェンダから構造的に排除されている。党際交流の民主的正統性も問われていない。

放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「自民党とBJPの連携強化・防衛装備品移転・経済安保協力は日本の国益に資する望ましい政策方向である」

技法：フレーミング+アジェンダ設定 — 根拠：00:00:04~00:00:27、00:01:14~00:01:22

メッセージ2（人物的）：「小林政務調査会長は有能な外交推進者として日印関係を発展させている」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



技法：情報源選定+省略 — 根拠：00:01:10～00:01:22

メッセージ3（社会的）：「日印関係強化は国際社会における日本の地位向上に貢献する自明の政策である」

技法：アジェンダ設定+フレーミング — 根拠：00:00:04～00:01:22全体

操作度の分類

- 軽度の傾向（3-4）

根拠：本放送の複合スコア2.8は「軽度の傾向」の範囲内にあるが、完全性スコア2.0は深刻な問題を示している。ニュース速報という形式的制約を考慮すると、個別の操作技法の強度は中程度にとどまるが、防衛装備品移転という重大な政策事項について法的・政治的文脈が一切提供されないことは、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の要件に照らして問題がある。与党の公式発表をほぼそのまま転載する形式は、NHKの公共放送としての独立性・批判的機能の観点から継続的な監視が必要である。

総括

本放送は、自民党政務調査会長の訪印・会談という外交ニュースを、与党の公式見解をほぼそのまま転載する形式で報道している。個別の操作技法の強度は中程度にとどまるが、防衛装備品移転・インド外交の複雑性・新幹線プロジェクトの問題点という重要な文脈が完全に省略されており、放送法第4条第4号が求める「多角的論点の提示」の要件を満たしていない。独立した専門家・野党の立場が一切引用されないことは、同条第2号の「政治的公平」の観点からも問題がある。ニュース速報という形式的制約を考慮しても、防衛装備品移転という重大な政策転換について最低限の文脈提供が欠如していることは、NHKの公共放送としての説明責任に関わる構造的な問題として記録されるべきである。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア（-5～+5）	放送内の描写 対 党の政策的立場
自民党 （LDP）	+1	00:00:04～00:01:22「共に後押ししていくことを確認しました」 — 政策立場：経済安保・防衛装備品移転推進 — 党の立場と一致した報道だが、批判的文脈なし。やや好意的描写。
立憲民主党 （CDP）	0	該当タイムスタンプなし — 政策立場：防衛装備品移転に慎重、外交的解決重視 — 完全に言及なし。スコア0は「正確な描写」ではなく「存在しない」を意味する。
公明党 （Komeito）	0	該当タイムスタンプなし — 政策立場：平和主義、LDP抑制役 — 完全に言及なし。
維新の会 （Ishin）	0	該当タイムスタンプなし — 政策立場：防衛強化賛成 — 完全に言及なし。
共産党 （JCP）	0	該当タイムスタンプなし — 政策立場：防衛装備品移転反対、反軍拡 — 完全に言及なし。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



国民民主党 (DPP)	0	該当タイムスタンプなし — 政策立場：実用主義的防衛 — 完全に言及なし。
-------------	---	---------------------------------------

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：自民党 (スコア+1) — ただし「正確」ではなく「好意的」の意味
- 最も強い歪曲：立憲民主党・共産党 (スコア0、完全省略) — 防衛装備移転に批判的な立場が構造的に排除されている
- 0からの平均偏差：0.17 (数値上は小さいが、これは全野党が「存在しない」ためであり、実質的な偏差は大きい)
- 総括：本報道は与党 (自民党) の政策活動のみを報道し、野党の立場を構造的に排除している。防衛装備移転という与野党間の重要な争点について、野党の立場が一切紹介されないことは、放送法第4条第2号の政治的公平の要件に照らして問題がある。特に、防衛装備移転に批判的な立憲民主党・共産党・れいわ新選組の立場が完全に無視されていることは、政策的対立軸の非対称的な提示を構成する。

左右スペクトル全体的傾向

傾向スコア：-0.8

(正=左派優遇、負=右派優遇、0.0=均衡)

分類：右派優遇

根拠：本報道は与党 (LDP、L-Rスコア7.0) の外交・安全保障政策活動を批判的文脈なしに報道し、防衛装備移転・経済安保強化という右派的政策方向性を自明の前提として設定している。防衛装備移転に批判的な左派野党 (CDP、JCP、Reiwa) の立場が完全に排除されており、政策的対立軸の右側のみが可視化されている。ただし、傾向の強度は中程度にとどまり、積極的な左派批判は確認されない。

ステップ4 — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平 (第2号)、報道の正確性 (第3号)、および多角的な論点の提示 (第4号) を放送事業者に義務付けている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号 (多角的論点の提示)

事実：防衛装備品移転という重大な政策転換について、推進側 (自民党) の立場のみが提示され、批判的立場・代替的視点が一切提示されていない。

根拠：タイムスタンプ00:01:02~00:01:07 — 引用：「防衛装備品の移転などの取り組みを共に後押ししていくことを確認しました」

評価：防衛装備移転は2023年の三原則改定後の重大政策転換であり、国会での継続的議論の対象である。この政策について一方の立場のみを提示することは、放送法第4条第4号が求める「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」の要件を満たさない。

違反2：

規範：放送法第4条第2号 (政治的公平)

事実：与党 (自民党) の政策活動のみが報道され、同一政策に関する野党の立場が構造的に排除されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



根拠：タイムスタンプ00:00:04～00:01:22全体 — 野党への言及ゼロ

評価：政治的公平の要件は、個別の放送において全政党を均等に扱うことを必ずしも求めないが、防衛装備移転という与野党間の重要な争点について野党の立場を一切紹介しないことは、継続的な報道パターンとして評価した場合に政治的公平の要件に反する可能性がある。

放送法第4条総合評価

本放送は、ニュース速報という形式的制約の範囲内で標準的な報道形式を採用しているが、防衛装備品移転という重大な政策事項について法的・政治的文脈が一切提供されないことは、放送法第4条第4号の多角的論点提示の要件に照らして問題がある。与党政治家のみを情報源とし、独立した専門家・野党の立場を構造的に排除する報道パターンは、同条第2号の政治的公平の要件との整合性について継続的な監視が必要である。個別の放送として評価した場合の違反の程度は軽度にとどまるが、NHKの報道パターン全体の文脈において評価されるべき構造的問題を含んでいる。

情報源の深度チェック（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関に対する義務的確認）

小林政務調査会長（自民党）

- 資金調達：自民党所属国会議員。政党交付金（国費）・政治資金・国会議員歳費により活動。公的資金による活動であるが、政党の政策推進という明確な利益誘導的立場を持つ。
- 委任：政務調査会長としての役割は政策立案・推進・広報であり、中立的・独立的な政策評価とは構造的に相容れない。
- 利益相反：推進する政策（日印経済安保協力・防衛装備移転）の直接的当事者であり、政策の成功から政治的利益を得る立場にある。客観的評価者としての機能は構造的に担保されない。
- 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：
 - D1 利益相反：-2 — 推進する政策の直接的当事者
 - D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗時の政治的責任はあるが、発言内容自体のリスクは低い
 - D3 専門的能力：+1 — 政策立案の実務経験はあるが、独立した学術的専門性は不明
 - D4 意見の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
 - D5 感情化対データ：-1 — 「しっかり」等の情緒的表現が多く、具体的データなし
 - D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）ではあるが、客観性は低い
- 合計：-2 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）
- 対抗的専門家意見：独立した外交・安全保障研究者（防衛研究所・大学研究者）、野党政策担当者、インド地域専門家による対抗的評価が引用されていない。これは放送法第4条第4号の多角的論点提示の要件に反する構造的欠陥である。

重要注記：「政務調査会長」という肩書きは社会的権威の付与であるが、それ自体は中立的専門家としての資格を意味しない。本分析では、肩書きではなく利益相反・専門性・データ使用の観点から評価を行った。

本分析はバージョン2.7-詳細、方法論的原則K5+K13（トリガーイベント文書化）に準拠して作成された。分析の限界：トランスクリプトの00:01:25～00:04:56区間は技術的エラー（「会談に先立ちました」の繰り返し）と判断され、実質的な報道内容の分析は約85秒の有効区間に基づいている。映像・音声の直接確認は行われておらず、視覚的分析は推定にとどまる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的背景

政権と野党

連立政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）。2012年より継続（2009～2012年の短期中断を除く）。2024年10月27日衆院選後、LDPは191議席に後退し、過半数割れ。連立維持のため国民民主党（DPP）との部分的協力を模索。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、公明党（24議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）が続く。

左右スペクトル別政党一覧

政党	L-Rスコア	議席数 (衆院)	政権/野党	核心的立場
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時脱原発、反軍拡
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組 (Reiwa)	2.5	9	野党	消費税廃止、反緊縮、反軍拡
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	護憲、再分配、夫婦別姓
公明党 (Komeito)	5.0	24	連立与党	平和主義、社会保障、LDP抑制役

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



国民民主党 (DPP)	5.5	28	部分協力	消費税減税、実用主義的原発活用
自由民主党 (LDP)	7.0	191	与党	憲法改正、防衛増強、経済安保
日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党	規制緩和、道州制、改憲
参政党 (Sanseito)	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

Pewしきい値：スコア<4.5=左派、4.5~5.5=中道、>5.5=右派

主要な政治的対立軸

日本の現在の主要対立軸は、①憲法改正（特に第9条）の是非、②防衛費増額と専守防衛の範囲、③原子力発電の再稼働と脱炭素政策の整合性、④経済安全保障における対中・対米関係のバランスの4点に集約される。2024年衆院選でLDPが過半数割れとなったことで、政権基盤の不安定化と野党の影響力拡大が新たな緊張を生んでいる。インド太平洋戦略における日本の役割拡大も、与野党間の重要な争点となっている。

メディア環境

NHKは放送法に基づく公共放送であり、放送法第4条により政治的公平、報道の正確性、多角的論点の提示が義務付けられている。経営委員会の12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、政権との構造的近接性が指摘されており、安倍政権期以降「官邸のNHK」との批判が学術・市民社会から継続的に提起されている。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、記者クラブ制度による情報アクセスの非対称性も構造的課題として認識されている。

ステップ0 — 放送情報とテーマの枠組み

放送データ

- タイトル：NHKニュース（午後4時）
- 日付（ファイル名より推定）：2025年（具体的日付はファイル名に記載なし）
- 推定尺：約4分56秒（トランスクリプト末尾タイムスタンプより）
- キャスター/レポーター：特定不可（トランスクリプトに氏名記載なし）
- 登場人物：

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
小林氏（小林政務調査会長）	自民党政務調査会長	自由民主党（LDP）	中道右派～右派（L-R: 7.0）
ナビン総裁	インド人民党（BJP）総裁	BJP（インド与党）	右派～民族主義的右派

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



主要テーマ

自民党政務調査会長・小林氏がインドを訪問し、インド人民党（BJP）ナビン総裁と会談、両党の党際交流深化・経済安全保障分野（エネルギー・半導体）での協力・新幹線導入・防衛装備品移転の推進を確認したという外交・党際交流ニュース。

世界観的文脈

日本とインドの関係強化は、クアッド（日米豪印）枠組みおよびインド太平洋戦略の文脈で進展しており、対中抑止を念頭に置いた安全保障・経済安保の多角化戦略の一環として位置づけられる。LDP-BJP間の党際交流は、両党が共有する保守・民族主義的価値観と経済的相互補完性（日本の技術×インドの製造業）を基盤としている。防衛装備品移転の確認は、日本の「防衛装備移転三原則」改定（2023年）後の具体的展開として重要な政策的意味を持つ。一方、インドはロシアとの関係も維持しており、日本の対露制裁との整合性という複雑な外交的文脈も存在する。

均衡ある報道のために必要な視点

以下の視点が、放送法第4条の要求する多角的論点提示のために必要である：

- 【A】 経済安全保障協力（エネルギー・半導体）の具体的内容と日本側の利益・リスク
- 【B】 防衛装備品移転の法的根拠・対象品目・国際法上の含意
- 【C】 インドのロシアとの関係継続と日本の対露制裁との整合性問題
- 【D】 野党（CDP・JCP・Reiwa等）の防衛装備移転・経済安保政策への立場
- 【E】 新幹線導入プロジェクトの現状・遅延・費用負担問題
- 【F】 BJP政権下のインドにおける民主主義・人権状況（報道自由度・少数民族問題）
- 【G】 日印関係強化が日中・日韓関係に与える影響
- 【H】 党際交流（政党間外交）の民主的正統性と政府外交との関係
- 【I】 経済安保分野での日印協力における中国の反応・地政学的影響
- 【J】 国内産業・労働者への影響（半導体・エネルギー分野での対印協力の雇用効果）

各視点の取り扱い確認

【A】 経済安全保障協力の具体的内容：部分的に言及

タイムスタンプ：00:00:53～00:01:07

引用：「エネルギーや半導体増強といった経済安全保障の分野での協力に加え」

評価：協力分野の名称は言及されたが、具体的内容・条件・リスクの説明は皆無。

【B】 防衛装備品移転の法的根拠・含意：言及なし（省略）

タイムスタンプ：00:01:02～00:01:07

引用：「防衛装備品の移転などの取り組みを共に後押ししていくことを確認しました」

評価：重大な政策事項であるにもかかわらず、法的根拠・対象品目・国会審議状況への言及なし。

【C】 インド・ロシア関係との整合性：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：インドが対露制裁に参加していない事実は一切触れられず、重要な外交的文脈が欠落。

【D】 野党の立場：完全省略

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



タイムスタンプ：該当なし

評価：防衛装備移転・経済安保に関する野党の政策的立場は一切紹介されず。

【E】新幹線プロジェクトの現状・問題点：省略

タイムスタンプ：00:01:00～00:01:02

引用：「インドで建設中の高速鉄道に日本の新幹線を導入することや」

評価：プロジェクトの大幅遅延・費用超過・用地取得問題への言及なし。

【F】インドの民主主義・人権状況：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：BJP政権下の報道自由度低下・少数民族問題への言及なし。

【G】日中・日韓関係への影響：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：地政学的文脈が完全に欠落。

【H】党際交流の民主的正統性：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：政党間外交と政府外交の関係・国会への説明責任への言及なし。

【I】中国の反応・地政学的影響：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：対中抑止という文脈が暗示されているにもかかわらず、明示的議論なし。

【J】国内産業・雇用への影響：完全省略

タイムスタンプ：該当なし

評価：経済協力の国内経済的含意への言及なし。

完全性スコア：2/10

根拠：10の必要視点のうち、部分的に言及されたのは【A】のみであり、残る9視点は完全に省略されている。特に防衛装備品移転という重大な政策事項について法的・政治的文脈が一切提供されておらず、放送法第4条が求める多角的論点提示の要件を著しく満たしていない。ニュース尺の短さ（約5分）を考慮しても、最低限の文脈提供が欠如している。

欠如している声

- ・野党（CDP・JCP・Reiwa）の政策担当者：防衛装備移転・経済安保政策への対案・批判的視点を提供できた
- ・防衛法学者：防衛装備移転三原則との整合性・国際法上の含意を解説できた
- ・インド研究者（地域専門家）：BJP政権の性格・インド外交の多方向性（対露関係含む）を解説できた
- ・新幹線プロジェクト担当者または批判的専門家：プロジェクトの現状・問題点を説明できた
- ・経済安全保障研究者：半導体・エネルギー協力の具体的リスクと便益を分析できた
- ・人権・民主主義専門家：BJP政権下のインドの政治状況を文脈化できた
- ・財務省・経産省関係者または批判的エコノミスト：経済協力の費用対効果を評価できた
- ・中国・韓国外交専門家：日印接近が地域安全保障に与える影響を分析できた

ステップ1 — 15基準：詳細分析

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	5/10	顕著な偏り
2	情報源の選定	6/10	顕著な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	7/10	著しい偏り
5	数値操作	1/10	問題なし
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	2/10	問題なし
8	選択的憤慨	0/10	問題なし
9	網羅性	8/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	3/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	2/10	問題なし
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	1/10	問題なし
15	アジェンダ設定	6/10	顕著な偏り
52	7-詳細 放送法第4条準拠 法廷提出可能形式	2/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

3.7/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.2/10

問題なし

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1